

◇ 目 次

■平成17年度研究開発実施報告書（要約）	1
■平成17年度研究開発実施報告書	2
I. 研究開発の概要	15
II. 研究開発の経緯	19
III. 研究内容の概要	23
1. 研究の動機と主題設定の理由	23
2. 編成した教育課程の特徴	25
(1) 協働して学びを生み出す子どもを育てる幼・小・中12年間の連携型一貫カリキュラム	25
(2) 教科・領域等の再編成	25
(3) 「幼・小・中12年間の学びの概要」の作成	25
(4) 学習分野・教科ごとに学年のまとまりを設定	26
(5) 幼・小接続期、小・中接続期の特別カリキュラム	26
(6) OWNプランによる選択的学習と異学年交流	27
(7) 「基本的生活力」の育成とメンタルヘルスサポートシステム	27
IV. 研究開発の実際と成果1 一貫カリキュラム開発のための考え方の共有	29
1. 協働が生まれる学びづくり	29
2. 学びの適時性・連続性を考えたカリキュラムづくり	33
V. 研究開発の実際と成果2 各校園および各分野・教科等における研究	37
1. 幼・小・中それぞれの研究1年次の教育課程	37
(1) 幼稚園の教育課程	37
(2) 小学校の教育課程	39
(3) 中学校の教育課程	41
(4) 幼・小、小・中の接続期カリキュラム	43
2. 各分野・教科等における研究と「学びの概要」	45
(1) 保育分野	45
(2) ことば・国語・英語	46
(3) 市民・社会	47
(4) 算数・数学	48
(5) 自然・理科	49
(6) うた・音楽	50
(7) アート・美術	51
(8) からだ・保健体育	52
(9) 生活文化・技術家庭	54
(10) 【幼・小・中12年間の学びの概要】	55
(11) 【考察】学びの概要から見えてくるもの	76
資料：各分野・教科の重点目標と研究仮説一覧（平成17年度）	78
3. なかま・創造活動・総合学習における研究と「学びの概要」	81
4. 生活・学びの環境・学ぶ心のサポートに関する研究と「基本的生活力」	87
5. 各校園における1年次の研究	93
(1) 接続期に関する実践・研究	93
1) 幼・小の接続を考慮した学びをつくる（小学校1年）	93
2) 中学校につなぐ子どもの学び（小学校6年）	94
(2) 協働して学びを生み出す子どもを育てる実践・研究	95
1) 協働的な学びを育む（幼稚園）	95
2) コミュニケーションを楽しむ子どもを育てる（小学校2年）	97
3) 表現が行き交う教室（小学校3年）	98
4) 安心して思いを表現できる仲間作り（小学校4年）	99
5) 自立（律）する子に寄り添って（小学校5年）	100
(3) 中学校における新教科構想（中学校「つなぐ科」について）	101
VI 研究開発の評価	103
1. 授業研究	103
2. 研究の評価	109
VII 研究実施上の問題点と今後の課題	115